

クラフト散歩を通じて牛窓の町を全国へ発信

牛窓クラフト散歩実行委員会

活動の目的

2年に1度牛窓の町を舞台に開催する牛窓クラフト散歩では町の道幅が細く1斜線のみで渋滞が問題とされています。このイベントは『牛窓の町会場』と『オリーブ園会場』と大きく2つの会場で開催されます。この2つを行き来する方法は自家用車かピストンバスとなります。第2回までピストンバスを1台1時間間隔で運行していました。1時間間隔でしか運行できないため満席となることが多く、来場者は2つの会場を自家用車で行き来しその結果、街に渋滞が起きていました。今回助成金を活用しピストンバスを2台にすることで30分に1本間隔で運行できるようにし、町の渋滞緩和を目的としました。

活動の内容及び経過

2017年4月15日、16日 第3回牛窓クラフト散歩の開催。牛窓の町を会場とし開催する牛窓クラフト散歩にとって渋滞問題は来場者減少と事故の可能性を増やすこととなる大きな要素の一つでした。2015年第2回終了後には地域の方々から渋滞クレームの声も多く第3回目開催ができるのか検討していました。来場者が増える一方、渋滞やトラブルが増すごとに増え続けます。この度助成金を活用しピストンバスを1台から2台へ増やすことで『牛窓の町会場』から『オリーブ園会場』へ自家用車で移動を減らす狙いがあります。増車することでバス利用客を増やし町の渋滞を緩和し、トラブルや事故なども減少したいと思えます。

活動の成果・効果

2017年第3回開催前に地域の方々にバスを増車し町の渋滞を緩和させたいとの文章を回覧しました。そのことで地域も理解し駐車場への配慮など町も協力してくださいました。バスを2台にしたことで渋滞が緩和し、住民のストレスの解消にもつながりました。また来場者には、イベント本来を楽しむ時間が増え前回開催より良かったとの声を多くの方々から頂くことができました。バスを増車したことで渋滞が減り、待ち時間が減り、イベント全体の盛り上がりにも大きく成果としてあげられます。

今後の課題と問題点

第2回の1台に比べ第3回は2台にしたことでより多くの来場者が利用してくれていました。しかしバスを利用する方が多くなるにつれて、バスの運行にどうしても遅れが出てきます。遅れが出ることでバス停は多くの人であふれていました。時間通りに運行できるよう余裕を見た運行時間の



見直しが必要とされます。また今後来場者が増え続けることで増車をしていかななくてはなりません。増車を繰り返すことはその分予算も膨れ上がり、運営にも影響が出てきます。開催ごとに毎回来場者が増え続けている結果に、どのように対応していくのかが問題となります。また牛窓クラフトフェア全体の大きな問題として、会場となる民家の家主の高齢化が進んでいます。前回は貸してくださった民家の方も今回は体調のこともありお借りすることが難しい場所もありました。また建物の老朽化に伴い建て壊しも進んでいます。前回約30の民家をお借りしましたが今回は約25でした。2年後はどのようになっているのかも分かりません。これはイベントの課題としてだけではなく、街の大きな問題でもあります。これをクリアしていくには瀬戸内市との協議も必要とされます。

- 代表者：末藤功太郎 ●所在地：赤磐市下市
- TEL：086-955-4548 ●E-MAIL：cafedugrace@ybb.ne.jp
- URL：http://ushimadocraft.qcweb.jp
- 設立年：2013年 ●メンバー数：11名